



平成 30 年度

のしぎくクラブ兵庫助成事業報告書

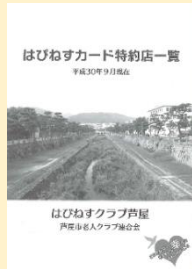


芦屋市老人クラブ連合会

はびねすカード事業促進と会員増強

平成 30 年 4 月～平成 31 年 3 月（通年）

会員に「はびねすカード」を発行し、これを持参して取扱店を利用した場合に、何らかの特典を受けることができる「はびねすカード事業」を促進。「はびねすカード本部会議」を定期的



に開催し、提携取扱店の開拓及び会員増強に繋げる方法を検討。新たに「はびねすカード特約店一覧」を作成し、会員に配布するとともに、新規会員勧誘に活用し効果があった。残念ながら会員数が 10 名以上減少したクラブがあるものの、45 クラブ中 12 クラブが前年度より増加。年度中に 10 人以上会員を増強したクラブ 5 クラブを表彰した。



三木市老人クラブ連合会

第 1 回市老連スポーツ大会

平成 30 年 9 月 28 日

会員の健康の増進を図り、会員同士の親睦を深めるために開催。三木市内の老人クラブで行われているニュースポーツなども取り入れ、種目ごとの得点の合計で順位を競った。市内各地区よりそれぞれ 20 名の選手が出場し、会員以外の参加者も募り、約 270 名が参加した。難しい競技もあったが、体を動かして楽しかった。応援にも力が入り、活気ある交流ができた。との声があり、例年開催されてきた「芸能大会」のマンネリ化を防ぐために開催したが、予想以上の盛り上がりで大好評であった。来年度の開催も期待されている。



加古川市 加古川ベルタウン銀鈴会

地域貢献活動事業、防災・減災研修事業

平成 30 年 7 月～9 月・3 月 9 日/12 月 18 日

小学生を対象に町内会集会所で夏休みの宿題指導、卓球の指導を行うと共に、子供の健康維持と礼儀作法の習得を行った。児童より感謝の寄せ書き色紙があり、来年度継続実施の要望があった。町内会の子供の顔と名前が分かり、子どもも挨拶をするようになったことで地域児童生徒の防犯対策としてもおおいに期待が出来る。



また、防災・減災研修として、兵庫県尼崎港管理事務所・尼ロック及び県立考古博物館を見学。多発する自然災害の恐怖について、尼ロックの映像、施設見学で再認識し、防災の重要性を研修することが出来た。

豊岡市 川原えびすクラブ

防災訓練事業

平成 30 年 5 月 30 日・9 月 28 日・10 月 19 日

川原区指定避難先「弘道コミュニティ」・介護老人保健施設「出石愛の園」・神鍋天文館「アルビレオ」を目的地とし、川原公会堂からどれ位の時間を要するのか、老人クラブを押しながら行けるのか、などを体験する、防災避難訓練を兼ねたウォーキングを行った。終了後は喫茶店で交流を深めた。会員からは普段体験できない所に行けたり、喫茶店でのおしゃべりは楽しいひと時になったとの声があった。今回実施した目的地では避難所の機能や受け入れ体制などの説明を受けたり、認知症予防の為の運動や生活習慣、災害についての備えなどの話を聞き、今後の活動に大いに役立った。





平成 30 年度

のしぎくクラブ兵庫助成事業報告書



豊岡市 出石町寿会連合会
地域貢献・交流事業（永楽ショー）
平成 30 年 6 月 16 日

近畿最古の芝居小屋「永楽館」を利用し、芸能祭を行った。歌、おどり、劇、尺八など演芸は種類が多く、中にはプロかと思える人もおり、見ごたえがあった。演技者と客席は一帯となり楽しめ、他クラブ、他地域との交流も出来た。出演者は練習を重ねることで、認知症予防や健康増進に。観に来られた方々の老人クラブへの加入促進にもつながっている。スタッフからは、参加してとても意義のあることと思えた。準備から楽しめた。との声があり、スタッフにも连带感が生まれ次の事業にも期待が持てた。また、障がい者施設の作業場の方に来て頂き店を開いてもらい交流をはかった。



豊岡市 奈佐長寿会
三世代交流そば打ち大会
平成 30 年 12 月 2 日

奈佐地区特有の伝承そば、「奈佐そば」を継承する事業として「三世代交流そば打ち大会」を開催。そば打ち、麺切り、湯がき、盛りつけの一連の作業を行い、小学校児童（4.5.6年）も体験した。終了後には独居老人宅を訪問し、そばを届け、喜ばれた。児童の保護者も数多く参加し各々の分野を担当し交流をはかった。初めてのそば切りは面白かった。子どもが上手に麺棒を使っているのを見て感心した。との声があり、作業は大変であったが、貴重な体験を共有することができた。無形文化財「奈佐節」も披露された。



朝来市 物部老人クラブ

『短歌クラブ』を通じた心豊かなふるさとづくり
平成 30 年 4 月～平成 31 年 3 月（毎月 1 回）

各月概ね 15 日に各会員がその月の「お題」1 首と「自由詠」1 首を世話役まで提出。講師に届け、添削をお願いし、例会の当日、開設を頂きながら発表、意見交換を行った。添削頂いた作品を『会報・樺の会』裏面に掲載し、全老人クラブ会員宅に配布。参加者からは、日常生活の中でも何か題材になるものは無いか考えるようになり、物事を注意深く見るようになった。との声があり、老人クラブの日常活動や運営についても積極的に参加し、公民館周辺の花壇整備や清掃奉仕への積極的な参加など自然環境への関心が高まり、リードして行く姿も見られるようになった。



香美町 駅前老人クラブ（西・中・東）

健康寿命を延ばす

平成 30 年 10 月 27 日

世界ジオパークに認定された山陰海岸の資源を生かし、栄養と運動に関する取り組みとしてウォーキングと竹輪づくりを実施。まずまずの天候に恵まれ 4～5 名に分かれてウォーキングしながら約 50 分間で海の文化館へ到着。館内施設見学のと、竹輪づくり。竹輪の棒に材料を巻き付けることがよくわかり、焼き上がった竹輪をその場でかじりつくると大変おいしかった。来年も参加したいとの声が 7 割以上あり、また、会員以外の方がその場で 2 名老人会に入会し、老人クラブへの加入促進にもつながった。





平成 30 年度



のじぎくクラブ兵庫助成事業報告書

洲本市 五色町一広石中老人クラブ
 宮山桜公園再生事業
 平成 31 年 1 月 8 日

洲本市 川西みどり会（老人クラブ）
 クラブ活性化と新規会員加入促進
 平成 30 年 4 月～平成 31 年 3 月（通年）

「宮山の桜」は商工会のちょうちん付けも行われるなど、地元のシンボルとして慕われており、また、広石小学校校歌にも唄い込まれ、新入生との児童交流会の場所とされている。そんな広石八幡神社の弥山（通称宮山）の桜木が老朽化しており、分植替作業及周辺草刈切木等の整備を行った。1 月 8 日は下草刈り作業・桜の老朽化及び枯枝の伐採・小笹の表土根切り及び土地の整地・2～3m 程度の桜の苗木を植林するという工程のうちの第一段階である下草狩り作業を行った。



新規事業立案での活性化と新たな会員増強促進として、寺子屋講演会、地域の子供との交流（七夕飾り、昔あそび）、歌声クラブ、男の料理教室、特別支援学級交流、新規会員加入促進キャンペーンを行った。会員の家を出る機会を増やすという活動により、会員からは、充実した日々を送ることが出来る。子供との交流でたくさんの元気をもたらしたとの声があった。



新規会員加入促進は、回覧板による活動告知により声かけをしやすくし、会員への声かけ運動を促進したため、26 名の新規会員獲得が出来た。

